

教科名	数学	科目名	数学 I	年次	1 年次	単位数	3
教科書	新編 数学 I		副教材	新課程 Study-Up ノート数学 I			

1 科目の目標

数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習について

① 予習・復習の方法

予習：前もって、次回授業の教科書2頁程度を読んでおく。

復習：授業で習った箇所の教科書を読み返し、公式や重要事項等は、もう一度ノートに書き写す。

② 授業における学習方法

◎授業では、授業内容が「わかる」ことを心がける。

ア 授業は集中し、先生の説明をよく聞いて、板書を早くノートに正確に写すこと。

イ 教科書の練習問題は、自分の力で解くように心がける。また、先生が解答したものを見て必ず答え合わせをして、理解できた点とそうでない点を明確にする。

ウ 分からないことは早めに担当の先生に尋ねる。授業時間内でも、放課後等でも質問することは可能です。

③ 家庭学習のポイント等

◎家庭学習では、「わかる」から「できる」にまで理解を深めることを心がける。

ア 宿題（問題集）は、出された当日に必ず自分の力で解いて答え合わせをしておく。

イ 宿題（週末課題）は、必ず自分で解いて答え合わせをして週明けの最初の授業に提出する。

3 学習計画

考査		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期 中間	・数と式	・適切な式変形や、計算の仕方を身に付ける。 ・パフォーマンス課題
	前期 期末	・二次関数	・二次関数の特徴を理解し、適切に考察することができる。 ・パフォーマンス課題
後期	後期 中間	・図形と軽量	・三角比について理解する。 ・パフォーマンス課題
	学年 末	・データの分析	・データの傾向を把握し、事象の特徴を捉えることができる。 ・パフォーマンス課題

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。	事象に対して、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養うことができる。

5 評価方法

計 105 時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、単元ごとのパフォーマンス課題、宿題などの提出された課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…50% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…20%